



改正  
増補  
京羽二重大全  
四

特別  
凡士  
3772  
4







中島又見上人のむす子其の雄山  
は流川を底より足て谷新免の松の  
下より

雄徳山 綴赤郡八幡村上流  
一名鳩ノ嶽又ハ香野

其南は山より西の河を尋て  
放生川を築せりける幽務斎師の地

乃月法和可其山は山西は山  
乃嶽の川彼白く流のあきやの

相尾山 雄山と一山脈あり明恵  
上人を志す程子を宗山は徳く

始ては山に桂の葉を佳名あり宋人  
詩より得梅山信初嘗目茶茶と云

是あり春夜抄にありありありあり  
るよりそを相尾山の山此あり

は以後多と字流よりつとあり

鞍馬山 鞍馬村の上より山中樹木  
繁茂を鞍馬寺に寄り

以て天や下向し候に岩を光を布祇  
ゆにを候に岩を名を余後撰集

聖徳のころまればより人へりりりり  
如くし来り人

如光家山 光宗の麻屋谷村上より  
あり山布よりあり寺あり

今悉くすすまると又正高山は云は岩  
王城の東の山ありとあり毎年七月

十六日は大文字の形は火とありす  
淨寺村よりありと火の禁あり

二ヶ所ありや

岩倉山 二ヶ所あり一は岩倉村又  
一は岩倉念真性院の辺

其一切経を有り南極の東の山あり  
古記よりあり又本集に平社奉

岩より四町の村に伝わり梅あり

たかりのまておせよ 又云流の口より  
志念五津中 結後のもよ切経  
と云方此山は埋じ依く名あり 和の志  
念に之別郡坂中村 上方より古記  
見たり 南志念に内國は有く  
暗部山 志念郡志布祿村上方  
有一志布祿山と云  
古今集 絶句之梅の花白あま  
色はくぬぬ山やまよふれと云く  
う有る魚

大悲山

志念郡八井村山寺谷  
村上方より山深く谷が  
めしうやう山よちわり 志念と云  
其地之獅子石書讀ると云名も二  
あり 飛の似たり 志念と云

賀茂山

志念郡上賀茂の東  
一名今土山又神山と云  
後多御院御集 賀茂山の棟は芝の

其風よこし川の氷と云く

淨蔭山

志念郡志布祿村上方  
一名日影山又淨生山又  
二飛山と云夫中集 中集 淨光  
也のよ此淨蔭乃山の法象系今ハ  
このよの志 志念と云 古歌教多  
有る

尻生山

志念郡小川谷谷の  
上方より神中抄と云

江文山

志念郡井出村上方より  
山に石穴二あり 日壺  
雨壺風壺と云 飛つ所の山と云 村氏  
面と云 志念と云

新頂山

志念郡栗田村上方  
蓮院上方より志念と云  
新頂山を世に 志念と云 志念  
耕田店の上と云

靈山

靈山 聖宮郡八坂町ノ東ニ在リ  
寺と云はるゝ云又山ノ井

あり續日記記明月記亦云云

歌中山

聖宮郡清原町ニ在リ  
別法宗寺ノ上ノ山其地ニ

中山

聖宮郡新田町ニ在リ  
ホノ地と云テ中山と云マ

本集ニ云モ云ク我モ田ノ中山ニ  
歌キ云ハリ一ノ山ニ在リ 東ノ如

ニ云ハルニ邪馬志ニ云ク中山ノ如ク  
以テ名ト云ハル

鳥羽山

聖宮郡蓮華王院ノ東ニ  
あり拾遺集ニ云ク鳥羽山

谷ノ烟ノ煙ニ云ク鳥羽山一山と  
云ク云

小倉山

聖宮郡清原町ニ在リ  
上方ニ云ク山中ノ楓多ク

後撰集ニ業平大井川ノ事ニ云ク  
其ノ山ノ楓多ク

火ノ小倉ノ山モ云クあり

嵐山

聖宮郡鳥羽山大井川ノ東  
上ノ山ニ林木繁茂一山

ノ楓多ク一皆鳥山上皇ノ植ニ云ク  
新々誠集ニ後宇多院ノ事ニ云ク

吾等ヤクノ山ニ楓多ク白糸  
ノ水ニ流ル

飛鳥山

聖宮郡天龍寺ノ東ニ在リ  
飛鳥ノ甲ニ似テ云ク

と云ク小倉山ノ山ニ云ク元一山ニ云ク  
此ノ山ニ續古今集ニ中誓大井川ノ事ニ

松尾山

聖宮郡大井川ノ東ニ在リ  
上方ニ云ク山中ノ松多ク

す風京新院ノ山ニ續後拾遺集ニ  
唯法院ニ云ク一ノ山ノ尾山ニ云ク

桂ノ木ニ云ク雲ノ山ニ在リ

大内山

聖宮郡仁和寺ノ東ニ在リ  
一名清原山ノ山ニ在リ

おみかたのまゝに九をよよむ白やとん  
つら大内山乃さくしありり

**五智山**  
葛野郡福王村の上  
ろ山とよ石仏の像あり

**足上山**  
葛野郡板坂村の南  
大永七年ノイノ柳中成

陣所古地はるをりて坂地を飯下  
山改とよ石仏とよ古地はる

**蓋山**  
葛野郡新安寺の山  
一ノ夜笠山大寺とあり

蓋のこころ一依り名とて名あり  
夜笠山の夕煙をたゆる

**稲荷山**  
或い飯敷とゆる紀伊郡  
三ノ家あり依て二ノ家云

稲荷神社  
址あり社今ハ山下又迂る  
平定文のありと社の教と人

きんをさるといふ

**竹葉山**  
稲荷神社東南ニ谷を  
竹の下たると云

肉と依て大仏豊國のあり  
あり續古今集ニ承隆深草

山のり青は人こころ  
深草山 深草村のあり

深草山 深草村のあり  
深草山 深草村のあり

拾遺集ニ及れハ深草山の  
形く声とあり

**伏見山**  
伏見の東に山乃水と  
和泉ト云谷と大谷

云家ハ別本情山古雲の  
程あり八種あり

海あり古及中  
ナリト云南

南深草より伏見の  
んくあり今乃伏見あり

山科

出づるに文禄年中は并くあり  
新拾遺集のゆゑ山門田の旁に  
宿とてありて樹をとき鴨の羽を

秋の山

紀伊郡中野村出枝乃  
樹の南尾子三教山也

あり元白河院集の宗の假山  
今尚とて田畑とをわたりて

五首の奇合三毛の伴とて添よ  
末をこしとせの姉此山の傍の月

栗田山

宇治郡日吉村の山  
是山名もつゝも山と

山名と松坂と鴨を明奇にかさ  
せん程とちぢるのまろふ松坂  
乃ねあつたまの又古帖三栗田山越  
ともこゑと之をたねあ夜はるけり

華山

花山村の山也三本集  
氏アはぬ松坂とてその

かりやまぐさうさひやまの山は此  
花乃山とて

鏡山

伊豫村の山也三本集  
名もつゝも山と

法羽山

田原村の山也今ハ柳  
山とて林は社あり

三本集三つとて法羽の山よ  
つらた我山名ありてこゝん

青羽山

吉野村の山也三本集  
界と山とて頂は

てまおせ目の中まつら山本は牛  
尾何り中三本集の傍より又  
坂内とて山とて古今集三本  
え方とて山とて古今集三本  
せまのこの山とて三本集

笠取山

醍醐村の山也三本集  
山とて日吉村



と云ふ山ありて樹木繁茂す  
六帖に西にありて山種を  
名に山やわくぬらん

炭山 炭山村上と云邦言  
集源明す

おき居の夜もつと細ぬ  
と云ふ山ありて樹木繁茂す

三ツ山 三ツ山村の上あり  
一名明星山新種名

ありて山ありて樹木繁茂す  
戸の山

山崎山 乙訓郡山崎村の上あり  
有山と云神社を依り

柳叢山 乙訓郡津谷村にあり  
と柳谷と云と揚

谷と云

木上山 乙訓郡奥海平村にあり  
樹木繁茂す

小塩山 乙訓郡少塩村にあり  
と云山のありて樹木繁茂す

乃寺と云まより河原の川原のありて  
大江山 於伊予に傳ふ乙訓郡  
を村の上ありて山あり

界に勢方今集意国大江山極く  
月の影とてを舟田乃面はあつた  
かりと云

浄法寺あり

出灰山 出灰村の上ありて山あり  
石原と云朝貢を依り

名とする一休和尚も山に伝へ

栗隈山 一名栗山久世郡宇治郡

一羽眼下にありて山に伝へ

高尾山 久世郡宇治郡

天正山 久世郡白川村上方

鍋倉山 久世郡白川村上方

甘南岐山 久世郡新井村

箕山 久世郡内里村

舟出山 久世郡新井村

市名山 久世郡新井村

推尾山 久世郡新井村

就善山 久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

久世郡新井村

園田山

筑後川より西の方七  
年九月ホ工寮

をたぐり下して園田ノ川を綱を  
元日ナリ七月ニ前筑後守後  
位下流原主人高貞を以テ園田  
綱をたぐる伎と云々

笠宝山

笠宝村ノ東ノ山也  
びえ谷深ク樹木繁

茂ト云私年中ニ後醍醐帝ハ山  
城ヲ築キテ依ル所ヲ築城ト云山  
尾山ヲ稱シテ高城ト云  
右平記ニ云ク一五社百之儀  
成マシメ毎ヨル上置ル所ニ川  
笠宝ノ山ト云ク

一重山

筑後出津ノ東ニ  
連リコトコト大和界

を以テ之ノ方集集ヲ指シテ  
云ク形ノ良ニ月夜ト云ク

しら妹り侍人

松山

和布川松山村ノ東ニ  
山ノ大掌舎ノ良材

物ト云ク右平記ニ云ク一  
集ニ我々天云クまんを以テ  
笠保ト云ク尾ノ和布川

相樂山

相樂村ノ西ニ方集  
ヲ指シテ相樂ノ良材

免ク一ツ山中遊メス  
乃山ノやま  
まを以テ性ト云ク

赤背山

赤背山ノ村ノ東ニ方集  
多ク云ク一ノ方集

赤背山ノ村ノ東ニ方集  
乃山ノ性ト云ク

布嵩山

布嵩村ノ上ノ方集  
乃山ノ性ト云ク

布嵩山ノ村ノ東ニ方集  
乃山ノ性ト云ク



青羽川

其源ハ心志山ニ由  
坂多村流分修平院

村の西とありて流分修平院

白川

其源ハ江別流分修平院  
より出て白川村に於て

白川と云麻原の西と流分修平院

はよりて白川村大和橋を流分

其源ハ川に入ル赤松三喜村より流分

白川と云流分修平院より出て

高瀬川

其源ハ其の東より  
川の水を引て

其源の南より九条の北に流分

入ルあり

菅野郡と郡

大堰川

其源丹羽郡森田郡  
山より流分修平院

山の南とありて二ノ流とありと

其源尾の流と云り流分修平院

流と云ひて南舎了意二流と

うからて村末新木の森は流分

下流ハ山田村桂号と流分修平院

其源ハ山田村桂号と流分修平院

一ノ名ハ無瀬川又西川又菅野川

又かつ川流分修平院

大堰川古き流と云り心あり

流の山に流分修平院

集三ノ中長公也大舟川より流分

より出て戸外流分修平院

其源ハ山より又其根集三より

より出て東西川と通分修平院

清瀬川

其源ハ山より流分修平院

其源ハ山より流分修平院

其源ハ山より流分修平院

糸川の岩三郷へは流せし流  
瀬川を流すは流士

水尾川 水原の水尾村の中  
より流れて南の大

井川に入らる

鳴滝川 一名浄室川水原の  
橋より流れて南園

と流れて川橋村の南より  
紙屋川と合ふ

紙屋川 水原堂岩郡氷室山  
の南より流れて川橋

の南より流れて浄室川と合ふ一名  
石塚川又若川又荒見川と云

有栖川 生田村より流れて  
大井川に入らる

芥川 天龍寺の東より南より  
流れて大井川に入らる

背戸川と云

宇多川 水原宇多の妙  
寺より流れて紙屋川入

宇治川 水原の別湖を流れて  
去地村より流れて

と紀伊郡の界とある伏見中津  
と云り流れて淀の城乃郷と淀

川と云ふ本陣川 毎一口村の古水乃  
もけりよ流る

本陣川 水原の伴野名張川  
と和別名本陣川の

尾と流れて田舎の郷より上野  
川と合して流れて

鴨瓶系の名は流れて鴨川と云  
鴨武天白皇改ましく流る

又伏田川と云ふ本陣村相和村親  
室村平尾村清田村と流れて

流るなり飯屋利由るなり

ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東  
ありとありと流るく八幡宮の東

淀川

水原相系郡有主岩

玉川

水原相系郡有主岩

村とさそくむあり邑よこりく  
本津川と入ル又あり川と云古家  
山塚乃井子の流り又ありて水  
甘川又波やまらん五社百首  
約とありてあり山塚のよあり  
りありありありありありあり

中川

水原相系郡有主岩

中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東  
中川の東を流るく八幡宮の東

有栖川

水原相系郡有主岩

有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東  
有栖川の東を流るく八幡宮の東





古の山堂もたふよあつるが支配く  
古百番新合よふ海もあは月すひ  
夜中り廣沃の池に定まらうとら  
ありらる

大沃池

大沃池の東の方  
樹木あはるくくあり

中央三池の南の池と云沃の坤は  
名もあはる湖石と云巨塔の合を  
うまるといふ西の池は師如前を極  
山家集よ大沃池の合を云うたて  
あはるを云く 池はあはるく  
人もあはるく 池はあはるく  
一かう極は又兼うあはるく  
紀友別いせりくくあはるく  
大沃の池は池の海あつる 正沃  
百と云後大沃の池はく 正沃  
ゆりあけをあはるくすあはる  
秋乃と

鏡池

鏡池の東の方  
二沃池よ水合多を

群池す廣沃の池はく 大沃は  
息多し 鏡池の池はく

葛浦谷池

大沃池の東の方  
え和の中吉岡光由山

とうあてあをり民を供をうら  
多し

常操池

鳴瀬村の池はく今うら  
残きく池はく

池はくあはるく 池の東の方  
常子化し人となしあはるく  
あり也

鏡池

上野村の池はく  
すじりあはるく

鍛冶池

西条田に五五社の傍方  
池の上は鍛冶池同義

アノ宗近ク形あり中定治様と  
尺くあり

大池 紀伊郡元佐々乃  
戻田と云申分久世郡

入小倉村と巨標と云く池也  
四里許五社百を後水門婦

池や戻田の子商と云同子ハ我々も  
切すすらんふらん

松野池 宇治郡物修寺村乃  
池也

勢野池 綴江郡多岐村池也  
一の盛衰記新記

池と云俗ニ地勢也云今中勢を  
云のきと云

水々池 同郡糸井村池也依  
て村の名とす

龍王池 同郡内里村池也  
社を依て名とす

荒神池 相樂郡  
相寺村也

三才夫池 同郡有布村池也  
早の阿村氏に於て

泉苑池 泉苑坊ツ小大文也  
之系坊ツ小大文也

後池 後池の地也  
乾監閣あり天長

御池 押中後敷内ニ古池  
押中後敷南宮所ノ東

名瀧 阿ノ山敷内池也  
於躍池と云今も  
阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の

云今も阿所池也上ル滝念氏の  
云今も阿所池也上ル滝念氏の



樓門澁

同於麻ノ谷村の上  
如名ノ嶽と云ひし

二并ちの西門有り此ノ名

三重澁

同於赤山ノ水取を  
の山名と云ふ山ノ上

龜蟬澁

葛野郡月讀ノ西  
十所作と云

稻荷澁

此修験あり山中  
有り拾遺集ノ此の

ありしとてを由は稲荷山七百  
たりしと云ふと云ふ人今ハ澁

あり是より細き流とあり下ハ此と  
あり是より細き流とあり下ハ此と

唐櫃澁

綴衣於赤山赤山  
椎尾山と云ふ神布抄

椎尾と云ふと慈徳の尾ト云リ  
奇ハ深根和奇式と云ふ

不動澁

同於八幡山ノ傍  
林寺ノ名方山と十所

ありはれハ年並と云ふ人の  
澁しと云ふの上二十計と云ふ

あり依と云ふと云ふ

竜王澁

同於及賀村ニ  
の奥と云ふ澁の

又中社のおと知らるる御  
と云ふ末ハ本門ノ名ノ風系

鶯澁

おと赤山ノ村ノ  
傍と云ふあり鶯澁

と云澁は圓と云ふと云ふ

兒澁

同於上ノ有村  
と云ふと云ふ又余下澁

本門ノ名ノ入

老游

同知宮村の老遊

童子游

童子游

同知宮村の童子游

京新橋の地

明神大游

同知大河原村の明神大游

又余いふに遊のさす百卒  
一と雄意と云一と雌意と云  
風流云遊よ及ひし

名井

明星井

吉田社のお格の下に  
有りし神系は明

星遊の古記に云く  
大師求圓持の法を傳へ  
よしそがさる虚を

智福院あり

菜井

後宮下河原の菜井

洞ありお孫けり  
とて平生くじ者多し

清和井

聖宮跡傍の清和井

和井のありと云ふ  
とも持ひてゆん

櫻井

松崎村の櫻井

柳井

西河院の柳井

西河院の柳の井と云ふ  
織田常吉の屋敷より  
お井の水すれり  
お柳と植あり

醒井 あり川 東条の如  
醒井所 織田長

言葉とありしは  
一石とくして  
まてそ其味を  
表の務 依女牛井  
平りも有り内ノ務  
興く云く

泉井 水はきり界内

梅多井 松原所下  
東側うらまむじ

裂糸 浄塔の時  
余梅多の入り  
くして外、流れ  
おろり矢の  
東のうらまむじ

少井 竹屋所 南東  
等趾あり 宣統  
二月南敷 假山  
流を垣の外  
く百練抄  
別宮 桑邦  
尾をそけい  
の尾と  
後拾遺集

自水井 烏丸  
東側

六月七日  
又やとす  
て多め  
あま水  
る水の

小井

一条の南津家の  
御子より一石練

抄云々

櫻井

一条の山三所を  
橋井のけ子あり

井をこ橋井のまを橋井基

佐の宅地

縣井

一条の山三所を  
古記云々今考

尺云々女津法所のまを入山

法おとたのまを

少将井

深草寺御所飲津  
古記云々地性

昔は少将のまを地性あり世に

深草少将と云は井少将の宅

せり云々ト

雲深井

深草雲深寺を

志井

依ん津音云々  
と云は志法泉涌出

味耳く痛ふはあを服すれば

まをま急白今地ありと云

ま集ま云々ト

小町井

宇治郡少将村を  
俗傳と少将中町のま

地は有るの井と云

百夜月井

宇治郡百番所を  
あり

山田井

飯島村を云々  
かりくまを

弘法井

奥畑村を云々  
りて味耳一石

まを云々ト

桑井

乙訓郡井内村を  
けりて味耳一石

味亦云々ト

泉殿井

乙訓郡富田村にあり  
早ももけあかりあり

又田

又田は地味くくし

白井

白井は津定村にあり  
水清く涌出する多し  
伝説法瑞ち

葛井

あり

山田井

下田村にあり井は  
時六のくしとて村民

是と月也

桐井

萱花里にあり  
お伊の香系は光公  
お址は下井のわたりは桐の木と  
梅はよく固く名をとり

名泉

朧清水

朧清水は  
光定公の系生村にあり  
後拾遺集に引遷法師

石清水

石清水は  
雄偉山八幡宮の  
窟より涌出する所の

香ありて法人の血を汲て疫氣  
除病と除く云傳ふ

紅清水

下野原村にあり  
有り毎に六月廿日

あり形をとけぬ清水  
なりぬれぬ交やせとせと云

吉水

丸山安楽寺にあり  
慈法和尚すまふ

泉涌水

泉涌水は  
ありけりあり固く

岩壺泉

嵯峨大仏にあり  
涌流く溝とあり大

初経てや月もくまんとあり  
振乃清水すむるはくあり



多しは源流是なり

大人足記泉 乙訓郡大谷新田村に  
有る長サ丈八余の

掘り出しの傍に大谷法師と云ふ

辨天泉 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

村に在りたのむし

鹿泉 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

夏に田不耕くこ

神人泉 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

田不耕くこ

清泉 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

味如く酒に似て

他ありともあり  
蹴拳泉 同郡吉野村に在り

甘露水 紀伊郡吉野村に在り  
東南に在り

醍醐水 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

柳泉 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

氏にありともあり

月園泉 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

ひらくふ通に在り

法華泉 久世郡宇治平谷院  
に在り水清く味如く

鏡書泉 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

玉泉 同郡吉野村に在り  
水如涌流して

井の即ありともあり  
うしもあるとせあり 又玉の

丹とまぶづく

名石

牛石

毛定歌白川溪が歌  
牛の体より似たり固て  
名をいふにえけるを切ん  
鑿とまると忽血脈を切るは後  
あつとて止ぬ今うよと痕を

瓜生石

東の智恩院をさつ  
おわよとてあま通  
乃の中央をさける祝多し  
瓜山乃  
作使の祝まじりけられ下り  
初は瓜生しこつる石西にび  
こりる人ふも後ありと後  
死を生して胡瓜をたるとり  
見や  
瓜生しとて元寺を他  
遊ると云後又瓜浦あり有り固て

今の名をさす世るじり一人のたぶ  
あくと云

護法石

大原多近尾村極主  
白生石の山角をさく  
皇考阿因梨持飛動使の傳因て  
忽死して一人の童子ありて後  
給仕を護法をとりす皇考の  
滅後化して石と形をさる

獅子石

大原孫林院の巽口向  
淨き花院の堂のあま  
ありしに言ある人高院よあわく  
文珠の秘法を修せり時ける獅子  
と化しておとりにたつてと多と後  
多ると新巻卷十二にんり

鏡石

昔野郡大由村の志  
形をさるすて水晶  
石のあま一面をさるすよく  
てとてり鏡のこも依くたを

蜻蛉石 宇治郡之宇野村宇治谷  
こむろまどるた乃た子

有りてさすか余幅て人三守末守  
く有りての表はみ名辨銘者乃像  
と彫付たり傳えけしヨチスありと  
田村のうしひと葉はの葉やびらこの  
るももこつげをよせりし

額書石 雄山樓門弁坂海の  
左のかさうの地の中ま

ける弘法大師位山の門にこれ門と  
なりてと銘とまけりありて事と  
ありて文字をすたる面よりなり  
是河原を弘法大師位山記云云  
帝とありたりと全剛定寺の歌  
とて海和るがしとと勅使と  
ままいりたりありては  
川のありて雄山のけりもを  
傳りて勅使川のありてま

一かろとを何とるしとて

是ととくませおたり銘と向て書  
久銘よとる名書はとくま  
忽歌の面を重刻定たり  
何とれとるしと

額立石 同本惣門東山一可余  
路傍たると方垣内と

佛足石 柘尾山春日社山岩  
まると面は仏足の形と

彫りぬるゑと人の像ありし

白石 同輪より堂の後ま  
白とるしと岩あり

又糸の標よりとるありし  
坐禪石 嵐山の上を傳へ  
あふるは山神なり

の牀とせらるるしとる氏と和  
と他てはとる病の身と嵐の  
ふよとまきありと世まありの標

ふりなりやせし世まありと  
あつひのころあつたの身と丸の尻  
うしろとけおせ

牛跡石 西の系宝津伝より  
山上にありて飛牛の

足酒石 先定郡二津村本船  
の社一ノ名は舟小橋上

乃し一姫一志の姫とてまきて  
惣て本舟の社日多とてあて  
す射あすすけるまやすしひ  
りことすまきこりあこと

燃虫石 ちんちん石山後より  
傳云和歌或る本舟

の社よ多船の附けあふりあ  
とあをんて前と海と伝へ  
号すなりと あり川山下の甲

冠石 昔船郡赤河内村より  
る形冠は似たり伝へ

名をと傳ふ惟高親王の名つる  
とて海ありと

坐禪石 相樂郡湯船村奥  
小松村に飛大智寺に巖

十段の山上下にむけるサ十八の横  
廿段の山頂上平之横八間幅六尺  
けあつたりふむるなる大親傳師  
坐禪の石也

虎石 あつて三宮虎つね乃を  
あま有是別傳あま

足船の浦より一志の浮洲あり  
秀吉公是とてあつたの城よりつ  
さつと後世あつた梅とて

虎石 海軍宝塔寺方丈の  
山面なるなるかたち

虎は似たりける始メ松壽上人は  
馬の地もさそふ京万里中御押小  
路は南之と所と虎石町と云今松  
河ノ秀吉云依ん城と呼んぬふ  
と此世ると城内も移さる地とて  
彼地更改の後にをさす此より  
とありて南山よりつとて

名木

乙訓郡大牟田村猪持  
石の松 されおよ松の方木今  
有りお傳ふ石は伸此松る云  
依りちと石のちとつと又山山双  
林も石の石は此備と云  
紀伊郡津子早津  
早津松 寺同くまらりとい  
さくらの名とすりとのう上野松  
前より津子早津のさくら

乙訓郡大牟田村猪持  
石の松 されおよ松の方木今  
有りお傳ふ石は伸此松る云  
依りちと石のちとつと又山山双  
林も石の石は此備と云  
紀伊郡津子早津  
早津松 寺同くまらりとい  
さくらの名とすりとのう上野松  
前より津子早津のさくら

乙訓郡大牟田村猪持  
石の松 されおよ松の方木今  
有りお傳ふ石は伸此松る云  
依りちと石のちとつと又山山双  
林も石の石は此備と云  
紀伊郡津子早津  
早津松 寺同くまらりとい  
さくらの名とすりとのう上野松  
前より津子早津のさくら

棺掛松

弘法大師は淨瑠璃の寺に在り終  
の時虚空に棺より降りけりか  
りて今も松に掛てあり

光天松 唐は池の向ひの松あり  
古者池の乾のふとよまを遍照ま  
り大徳正寛郷の宗基まを唐依  
流の元祖之天徳正寛郷の松の  
梢より天正寺へ伝へ光天の松と  
り元亨新松まを唐より今池  
南より宗室抄あり

御方松 伊奈新之町南東角  
酒家の三松のりより一間

中斗の朽木一本植まう今より  
相傳う九条別表を経て松を方と  
をす又一説より川の御方より  
いを隣之境内にあり御方の松と  
とよまを傳へしり云

此松之れ 乙州郡宗室抄の  
あり松平の御方とあり

之かありしは松上人滅後十七年

安永二年四月廿六日世宗上人の  
遺骸と茶毘のり付け松を以てた  
を川より今松の松の松あり

影向松 少僧經王堂ありあり  
神をより朝菅並相付

松は影向とて中借と傳へ松梅院  
ありて松とて及まるとよ又二説  
け松とて及まると松あり

常宿梅 高松屋せのり下らん  
減の内の利り成り

墳墓下の梅とてけり織田  
ありて見たり

未開紅 高松屋せのり下らん  
傳へあり紅あり

子貫松 高松屋せのり下らん  
傳へあり紅あり

まこれ所ありとあり

そ外由未詳

馬繫松

寛永三年冬、ついでに  
治承四年六月、海寇に  
攻められたり、其の害の甚なりきと  
けねまつをく、ト云リ

甲流松

治承四年、甲流の  
甲流の松と云ふは、甲流  
流系、甲流と云ふは、甲流

七か竹

治承四年、七か竹の  
七か竹と云ふは、七か竹

新沼松

治承四年、新沼松の  
新沼松と云ふは、新沼松

新向榎

治承四年、新向榎の  
新向榎と云ふは、新向榎

新向榎、治承四年、  
治承四年、新向榎

求聞持本

治承四年、求聞持本の  
求聞持本と云ふは、求聞持本

瓶の底

治承四年、瓶の底の  
瓶の底と云ふは、瓶の底

乳向椽

治承四年、乳向椽の  
乳向椽と云ふは、乳向椽

名名椽

治承四年、名名椽の  
名名椽と云ふは、名名椽

百二橋

治承四年、百二橋の  
百二橋と云ふは、百二橋

河内 德仁紀三百年遠下あり  
らんきり 今河内川よりお侍  
羅漢橋 河内橋の東より成を  
る依りたるをいふ河内川の細川  
典厩にありて我死より河内正記  
らんきり

舟橋

上立常通を又元  
寺橋と云ひし橋也  
一元寺を仍て名とす

辰橋

一条堀川の邊に橋  
じり八坂の邊に橋  
津路所大寺よりいへり  
父之居居の跡を元しく形  
ありてと云ふをさしけり  
築はれしを津路別橋といひ  
行かす一りれは河内 忽種  
打つれりし橋はれしは元橋  
の事と云ふ又無記に河内

ナリトナリニ修車と二条の  
之橋の事と云ふは橋と云ふ  
まは橋中 和舟橋は舟の名を  
て 舟橋といふ人より舟の  
鳴もとりていひまはる

三條大橋

先定記が河内川に  
七井之橋と云ふ余護  
河の橋と云洛陽之系橋般石  
橋地をいひ又尋る橋を千二  
天正十八年 庚寅正月 増田  
右衛門尉を感奉之云

四條板橋

河内か河川より之を  
身中三橋をいひ云  
古記に云く河内正記に  
改曆雜日記に云く

又條大橋

古河内が河川より  
元河内正記に云く  
りとの事と云ふは七井河



又余か新川と云ふ新川と云  
まゝかゝるし園大曆康永三年  
八月十日の日録と云ふなり

落橋 おちり  
水筒寺の御所の又  
大落橋と云薩戒化

渡月橋 とげつみやう  
昔お船差山天孫宮  
は論る間と云又御幸

橋と云は橋と云ふ川橋と云  
初ゆらるる橋と云ふ橋と云  
必所の他ありと云ふと月人の

やうと云ふと云ふ

神メ橋 かみめ  
了然と云傳と云散本  
和奇集と云と云

きくよつぎんもくしーちのそ  
ぬあまよそめつと云

安堵橋 あんどう  
昔お船川橋村の東  
わさせ世々ののり

世人の身よあれたるよあれたる

法橋 きよはし  
法橋村と云又橋と云  
なり

唐橋 からばし  
唐橋村の南と云  
壱客系入時と云

と云は壱館と云ふあまか  
つと橋今も吉祥院村より  
化と云ふなり

宇治橋 うぢ  
宇治川と云と云  
日中後紀云道昭和尚の

造と云ふ又延暦十七年  
麻呂と云りて宇治橋と云  
橋の築の技業畧記と云

淀大橋 よど  
と云八十余丈と云  
まがの丑寅と云申酉

渡り橋ありと云と掛あり  
渡ると云下流巽の本

小橋 こはし  
津川お宇治川及伏見  
川の落合と云と云と云

一尺の寸は橋の高を城郭造営の時  
秀吉が掛ける上古の橋ついで是の  
有るを云々

孫橋

渡所の中を云々と  
小橋の中を渡す

豊後橋

お名桂橋を後橋町  
五橋の百十間秀吉云

此時は築く橋の乾き別所を好む  
新橋有るを云々又肥後橋は  
加藤氏後を流す宅有りは依て是の  
毛利橋阿波橋未だ同

小枝橋

上名村南八町中枝村  
五成家より卯辰に渡り

長廿四寸五分より十寸五分の橋  
の下流にて加藤氏の事云々  
此はよと云ふと異

名家

大蟲峯

屯倉敷村  
又静原山とも云昔峯延

法師毘沙門の呪を漏して大地を依  
ては峯は築固く名を毎毎云  
月替るよ毎々の竹切して大蛇を依  
目されは法中有り云々

高峯

屯倉敷村  
より有り云高峯より作る

阿波陀峯

屯倉敷村  
此を云々

葬の地又粟田口の南に云々  
阿波陀峯云々

小松峯

屯倉敷村  
云々

此は云々  
云々



して牛馬丸を法親術傳文せし  
所あり

證合名 宅定於麻名村、東  
有じう、坂徑原より

後免けありて平を此と減とてり成  
後合しりあり

麻名名 同於麻名村名  
此法地傳万甘とて

云律土律院を此と名法の地傳  
同於智身院地是

大名 あり今と大名と云  
又法ありのありて此所の真所

と大名と云元いけ智身院地を  
うつしりあり

小松名 同於大松分あり名  
ありありありと云

正林とて云寺建をありてあり  
名法の地傳とあり

汁名 同於法ありて法系  
ありありありと云

減名 又い久と目録と云り  
字集を名紀と云り

泉名 昔時名傳村あり  
ありと名法の地傳と

山槐記 あり今ありと名傳の  
ありと名法の地傳と

蛇名 同於蛇山あり

標名 同於上田村のあり

柳名 同於津名村のあり  
是之揚名ありと云

世は柳名のありと云

十姉妹名 同於お堀村あり

相三郎巻四  
三三

壺が谷

宇治郡よりほど  
山あり

長谷

山あり  
けり川に極し

有主谷

相多郡田村新田村  
あり

坂

路が坂

久世郡長世寺村  
のりも丸の前よ

白鳥此は坂の松林まやう  
てりん松もゆけり

瓶坂

寺定郡松橋村  
前散木集より

瓦坂

同郡柳原村  
西に俗より

江橋抄

八坂

同郡八坂里  
里あり

崎坂

乙訓郡向日町  
西に

寺坂

寺定郡ひさの山  
坂あり

禪師坂

松尾坂  
大坂

牛坂

界あり

車坂

寺定郡山崎  
町あり

長刀坂

寺定郡廣沢  
町あり

三年坂

同郡法光寺  
あり



とふゐの園と云

靱園

曰部友多村梁塵秘抄  
いせのつとこれ菴う全人

牛屋園

久世部之牛屋村界曰  
牛屋原と云ふ也

不相力を牛屋の原よりいふと  
名とていふまぬもいふ

區毘園

綴吉部飯石村と云  
又馬咋山又湯の原

筒城園

曰部友多村の北  
村と云ふの地名は白河

教七百その先後いふやん筒城  
の原は昔の原といふていふ  
もいふ

鞍園

相部部下柏村と云  
このくまは似て園て

船園

東陣の小大津の傍  
く指すは昔に讀人ふ知

舟の原といふもいふ  
いふいふ人いふといふ

里

八坂里

葦原郡八坂といふ  
源は天延二年東遊の

所は神代村の八坂の原といふ  
きみりも世といふかといふ

芥生里

曰部友多村の北  
地名芥生園と云ふ

里といふれり  
山原は昔の大原の芥生の原といふ  
あまていふ方いふ人もいふ

炭竈里

曰部大原郡新郷  
古今集に土師の院

余亦もそもいしーとあるたあや  
細いさぬ炭くまはたや

桂里 葛野系上桂村  
続後撰集系法苑

定まぬ桂の里此川と繋り有  
てや月すすけん

山田里 葛野系山田村又本  
集、徳園法師

ういその神多と時りきりしうか  
留れしゆの梅乃立枝よ

葉室里 葛野系谷村と  
室活百そ、老後

世志志物りしう尺方れ竹を  
いし後の里乃代れ面う年

葛野里 同系村と船村と  
村を云こま本集よ

仲実いぬ人の由きもんりあり  
まろがれ里のし羽の船考

今里 乙訓系今里村新松  
名考、覚助親王

日言れいを後の今けと火立を  
多舟田の面よりありたあしく

音押里 宇治系音押村  
新後撰集、杉泰

婿あうくぬりまきさあもく海  
とけのさや宿家ありん

木幡里 同系本幡村万葉  
山科のこり此里よる

いあれかちうりうり君と母人は  
紀伊系伏見と

伏見里 後拾遺系栢後經  
於人なれば海りりうりい伝え

乃さこの名をさあせま  
綴系船井と村

井心里 同系系井心村  
此川の伝よありしとて我も



ゆりや井子のゆりや人 新橋古  
今集るんを

箕ノ里 旧羽内里村万安  
まほりゆりや

姓とてん宛あり 六八少い

森

栢ノ森 大文色つやをたの社  
みん今いたまふ森

と云新吉非大細をたぬと云  
ゆりやゆりやの森をふん  
みん今いたまふ

赤院森 下加茂社近所  
南に二井いまふ集る

浄祖森 下加茂社近所  
八社百をて後成

ゆりやゆりやの森をふん  
ゆりやゆりやの森をふん

踏ノ杜

愛宕郡修子町村  
有り 拾遺集

はるの山をこつていり  
雲れをあらうたの森

比良木杜 旧比良木村  
まけつてはらふ

今下加茂の社内  
ゆりやゆりやの森

石ノ渡院杜 石ノ渡院  
ゆりやゆりやの森

乱ノ森 下加茂川合社  
ゆりやゆりやの森

夜ノ森 昔時能松尾中社の  
ゆりやゆりやの森

扇浦山娘の森 旧扇浦山  
ゆりやゆりやの森

羽束師杜 乙訓郡志水村  
後撰集にゆりや

ゆりやゆりやの森をふん  
ゆりやゆりやの森をふん

なつうの森とていふ神

久我社 同郡下久我村に在り

後の社 所々有る新古社に

青とていふ神ありては

半布神社 同郡横方海村に在り

城南神社 同郡中津村に在り

石田社 宇治郡石田村に在り

山科の石田社 森とていふ神あり

足立神社 綴書は同郡足立村に在り

後撰集に在りては

抄に在りては

永福寺に在りては

人妻社 同郡稻八妻村に在り

野

紫野 京師小の野とていふ

大野 大津市の地所あり

蓮花寺 船多の所あり

遊桶 延暦廿三年八月

延暦廿三年八月

延暦廿三年八月

延暦廿三年八月

有

點野

千中嶋ノ事ト云ハ  
又ハ少野ト云ハ新

たのまゝに記さるゝ一樹ノ事ヲ社  
又メ野ト云ハ其ノ丈ニ又メ野ト云ハ  
さすは少野ト云ハメ野ノ社ト云ハ  
乃ト云ハ其ノ社ト云ハ

水野

延暦年中天皇御時  
延暦年中天皇御時

遊獵ノ事又定法ノ事ナリト云  
右天皇御時幸チテ宮ト云ハ其ノ事  
古紀ニ云ハ

柏野

少野ト云ハ又メ野ト云ハ  
柏野ト云ハ

内野

西ノ京ノ東ニ在リ  
東城ニ在リ延暦二年

戦場の事  
以上是と七野ト云

櫛野

延暦年中東村ノ事  
ト云

之野

同野ノ事村ノ事  
ト云

杉野ト云ハ其ノ事ト云ハ  
ト云

栗栖野

同野ノ事東村ノ事  
ト云

今得テ之ノ事ト云ハ延暦十  
四年十月遊獵ノ事ト云ハ  
其ノ事ト云ハ其ノ事ト云ハ  
乃云レ其ノ事ト云ハ

小野

同野ノ事西野ノ  
事ト云ハ

好野ノ事ト云ハ

日野

延暦十三年八月遊  
獵ノ事ト云ハ

桶の中古記に云く山家集に  
依るにね園屋を頼むと申す  
日持手てつと約ころん

栗栖野 同知花山村新撰  
村のりとも新撰古歌

ねれくうふれくしありり  
うげふ 同知三宅村 傍舟

蜻蛉野 蜻蛉石あり園て名  
を万葉集に河古尼、おと

山科野 宇治郡よて山科と  
名つくり日介記に天

遊桶と云 智々堂八年前の月日天の山科  
遊桶と云

小野 同知少井村庄ん飛山  
川と云けと云  
よりいりりりり

陶形 葛野別後儀法清涼  
ちう東南よと庄氏に  
作事と云氏まかつけと作りと  
吟業とて園て又作事と云  
云天長九年の帝は前と作桶の  
古記に云く新軸撰集に  
云すのあよきえはたよと云新  
と申すのあよきえはたよと云新

友生野 同知山田村と云  
友生の社あり

羨儀野 同知今上はが下さ  
がよと云其の古年よ  
こよと云今上はが下さ  
鬼と追りてと申す海あり

之代実孫よと云あり

葛野 同知形村上野村  
よのりともて葛野

と云く延暦十二年権胤乃中

古紀まゝなり

芥川村 紀伊郡芥川村 延暦弘仁年中より

在稱し、まゝなり日本後紀に

より仁和子の御幸ありし

二代実録よりみきり結古

集と細とありてとてこれ

芥川や竹田の茅草ありし

柏原村 同郡大東郡小

子延暦十四年在稱す

大東村 乙訓郡大東村弘仁

の幸あり古紀まゝなり

佐江村 同郡大東郡村中

中務少将の松風さしし

佐江村のぬまやさへは

英豆村 綴在能員豆村

より日本後紀に

棚倉村 同郡田原村

多由らうのみおち持て

名に立ぬぬかへの野

栗原村 久世郡栗原山

のより古紀に

葛野 同郡富野村

市原村 宇治郡市原村

市原村の天智天皇

市原村の天智天皇

市原村の天智天皇

原

御祖系

志定系下野原の地是之新山集を

静系

同系静系村山が集山かのゆき奴と

檜が系

尾原河川をわせの静系の里首の静系志定山を

鶉系

新の丹集を志定山と字寺ト云鶉の

系も、此之代実録ニ云、今昔の静系ト云、夫木集ニ云、

大系

乙訓系小塩村古今集、業平相良

系も、小塩の山も、此の系、神世の系も、此の系

塚系

同系塚系、志定里の系、中山古記に云、

十姉妹系

同系大系、静系、志定

箇城系

綴系、静系、志定村、

系、静系、志定村、

田系

同系田系、志定、

系、静系、志定、

瓶系

相系、静系、志定、

系、静系、志定、

宴松系

系、静系、志定、

系、静系、志定、

尾

高稚

葛城郡中津村の上方の山に在り

梅尾

同郡三輪ノ山に在り

栲尾

山ノ北に在り

水尾

同郡栲尾山の北に在り

松尾

同郡栲尾山の北に在り

牛尾

同郡栲尾山の北に在り

長尾

同郡栲尾山の北に在り

将尾

同郡栲尾山の北に在り

崎

同郡栲尾山の北に在り

松ヶ崎

同郡栲尾山の北に在り

榎小崎

同郡栲尾山の北に在り

今も

同郡栲尾山の北に在り

榎小崎

同郡栲尾山の北に在り

今も

同郡栲尾山の北に在り

榎小崎

同郡栲尾山の北に在り

今も

同郡栲尾山の北に在り

榎小崎

同郡栲尾山の北に在り

今も

同郡栲尾山の北に在り

小一まう傍の山をさし乃其  
山崎 やまざき 乙訓郡山崎云  
為甲子まき之山崎や

向ひの定北一むら河の川原  
みしれあよりあふ

園崎 おち 申元郡長崎村  
上中下あ上り志若

光の寺の西門ト摺門上の月と云  
門のあ方まき野ん民居と出  
刻けと云とを自解く云と中と  
元意寺前と云津後所と云  
南とある在る下り茶師の  
まきかま方と云方橋東の十  
戸所南水十二所ありと云

### 嶋

核崎 まきのしま 久世郡核崎村と云  
宇治平等院と云

古の宇治の川崎ありし今川橋と  
築き新田とあり今築集ま  
毎原基光宇治川の川原に  
夕方ま核の崎人毎とよあ

夷崎 あいに 本集武吉の八代川  
乃夷崎流り水のけりもあ

梅崎 うめざき 宇治市梅崎と云

楊枝崎 やなぎざき 紀伊郡淡中村南  
五少社有る

### 驛

三條驛 むまつき 鳥丸之系七所  
場の中と云

榎原驛 えのきわら 葛原郡榎原村  
あり



山崎驛

乙訓郡山崎村  
延喜式子見あり

伏見驛

延喜式子見あり  
伏見郡伏見南  
淡所あり

長池驛

久世郡長池村

玉水驛

綴喜郡井出村

園田驛

相樂郡山村あり

大河驛

同郡大河原村あり

笠置驛

同郡小笠置村あり

本津驛

同郡本津庄あり

渡

山田渡

若中郡山田村東  
あり

桂ノ渡

同郡下桂村ノ東あり

瓶ノ渡

乙訓郡山崎東淀川  
あり流ハ別淀川の

南一河の別名は後り山崎あり  
八幡及ヒ河内名ありハ瓶川の  
後とあり

久我渡

同郡桂川あり

新世渡

太田所あり

封ノ渡

久世郡封戸村  
生津村を本津川

飯園渡

綴喜郡飯園村  
あり

檜現渡 曰於美内村より渡り  
美内ノ渡と云本津

川と云渡り玉水の少く又  
左平紀と云

橋中渡 曰於橋中村より

樺井渡 曰於美内村より渡り  
泉川ノ渡と云

草畑渡 相手部  
美内村より

加茂渡 曰於瓶原より加茂  
川と云渡り

坤ハ南に般若板ニ出ル所一里  
と云り曰川上良山と云渡り  
有る事也此山と云り此山曰  
所并と云良山は伊賀界と到ル所  
と云渡りして天蓋の山と云渡り  
村民あり橋中ト云地境在之

法起寺渡 曰於法起寺村  
より

本津渡 曰於本津村より  
上吉の事橋中ノ南一

所ニ橋有り此の源ハ今ノ橋より  
二里半異に飛鳥渡有る事也  
其源ハ是ヤサリ伊賀界ノ界  
と云細い所と云と云渡り  
飛鳥渡ハ此の源の如く  
其中右曰川の別名ニ布川と云  
川幅狭くして二尺或ハ三尺  
と云と云との間を渡ると云  
布川と云  
を引張ると云  
藪渡 曰於綺田村より  
以上六ヶ所本津川は  
渡り

三大橋

宇治橋 山城宇治川流後入  
淡大橋 山城本津川流後入  
勢田橋 江別湖亦流後入  
見前中後記

五園

宇治橋 宇治郡之志  
大原乃 美定郡之志  
大枝乃 乙訓郡之志  
山崎橋 乙訓郡之志  
大津 江別

京都七口

八條口 二條口 今出川口 又右京  
出雲守口 以迄三右衛門 蓮花寺口 又左京  
七條口 又丹波口 車寺口

七瀬

川合 紀 取敏川 今大天川 又大天川

東滝 小白川 大井川 嵯峨 西滝 嵯峨  
石籠 嵯峨川の上流

五三昧

阿波陀峯 船岡山  
多岐山 西院  
竹田 中山

八景

彼学院八景 彼学院後 在油取  
村海晴嵐 松橋夕照 茅檐秋月 平田新  
隣也初面 巖峰秀雪  
城小市市山八景 杉斧松 巖牆水  
小肉峯 流六溪 洗密科  
枕流洞 音智潭

洛西崕嶽八景

嶽野雲深 飛峰綠樹 度溪秋月  
小倉紅帆 碧文紅瓦 白石積翠  
洪川水急 清涼晚鐘

稻荷山八景

三峯春眺 浮橋秋月 忽日曉鐘  
多野晚霞 雷嶽蒼翠 瀑布餘香  
前溪紅楓 石山積翠

東山泉涌寺八景

堯塚堆雪 鴨川生流 忽日孤月  
德村淡烟 忽日落日 忽日幽鐘  
音羽間雲 羅刹紗函

十景

洛陽十景

法水仙閣 智耳鐘聲 鞍子古樹  
稻廟紅葉 東山明月 天台晴雪  
柳谷群鷺 宕岩片石 山階夕照

東山十景

天台積雪 如雪秋月 中堂之塔  
瑞雲晚鐘 忘食飯樵 忽日孤雲  
死頂積翠 祇室晚鐘 法水白橋  
慈林松濤

法水十景

右崖懸泉 春嶽閑花 音羽翠翠  
灵鷲深鐘 洛陽方戶 鴨川一節  
東郊烟雨 西門左眺 宕岩積雪  
森阜蒼苔

山十景

法水方松 台嶽彩霞 林園噴瀾  
鴨林及雨 柳谷秋月 石川急流  
松橋翠嵐 園崎淡烟 祥林幽鐘  
白川樵歌

愛宕十景

堯頂層樓 洛陽去處 忽山及雲

了雄丹楓 戲峰晴雪 挂川生流  
法然多月 廣波暮夜 水尾朝煙  
月輪松濤

禁裏沖所花園十景 修治院村

菩提樹 下ノ寺ニ多クアリ  
壽月鏡 日上 藏六庵 日上

變曲欄 田植沖流ノ所

洗詩卷 上ノ寺ニ多ク

藤亭 日上 窮遠形 日上

止止齋 日上 乙ノハニリ 建物ナシ

浴龍池 土居ノ東ノ池ニ遊今ハナシ

万松塢 中流之中ニ四方四面アリ

醍醐十景 竺峰紅葉 炭山壑梅 中ノ深遠

丈嵩傑觀 西嶽秋月 玄谷夜夜

南谿秋碧 槎峰險樵 石間采薇

寂谷觀祀

### 十境

南律寺十境

險雲洞 独秀峰 羊角峰

奉持池 曇花堂 鎖春亭

蘿月庵 護尸廟 慈好亭

蒼龍林

天龍寺十境

普明閣 絳唱谿 靈庇廟

曹溪池 拈瓦炭 度月橋

三級巖 万松洞 鈴門亭

無頂塔

相國寺十境

殺石林 妙善巖城 兔兔閣

浩香橋 光星室殿 鈴剎水

功徳比 天界橋 護國廟

祝釐臺

東福寺十境

妙雲閣 蓮佛場 湖音堂  
柳檀林 思空池 成松室  
通天塔 千松林 甘露井  
洗玉洞

万壽寺十境

十地超閣 大雄宝殿 三山祇廟  
千松寮徑 枯木回春 新觀更雨  
东軒 南院 琴亭

建仁寺十境

慈觀閣 空閣樓 大悟堂  
群玉林 入定塔 樂祇廟  
甘露燈 清水山 弟文橋  
鴨川水

大德寺十境

達磨峰 瑞雲軒 看雲軒  
金剛軒 古名松 起勢軒  
官池 梅橋 予心庵

明月橋  
妙心寺十境

万歲山 拈華室 夜香橋  
百苑洞 宇多川 田藉田  
南華塔 祇文社 鷄足岩  
高安灘

十二系

城小水室十二系

自寬峽 攀月巔 雲窩溪  
落猿定 眠雲峯 轉湖山  
曼珠院 服凉坂 務海橋  
浴月沼 新水古石 凌陰山天

祥林十二系

野山松 悲田梅 黃骨瀑  
通天橋 臥龍橋 礙雲閣  
烟漏室 凝睛橋 白蓮池  
幽樵蹊 濯錦泉 冢中庵

八階十二系

法山灵社 洛城瑞霞 石水法像

龍湖蘇月 天台移宮 波橋斜照

孤川征帆 伏波扇 雞波陰流

山崎晚鐘 溪橋雲網 朝山晴嵐

宇治十二系

春岸餘鐘 清湍螢火 三宮紅楓

長檣曉雪 朝日靄暉 薄雲紫赤

松姫水社 釣教夜月 扇芝孤松

桂橋曝布 浮船古祠 興隆晚鐘

五岳

如意宝山 山嶽藤十卷上 龜岩山 山嶽湖日峰

比叡山 山嶽江別ノ境 王嶽ノ丑寅

高子穗峯 日向宮 金剛宝山 大和宮

京羽二重大全卷之四終

